

新除草・調節剤

ミドリナール

植物成長調整剤

(取扱メーカー) 東邦千葉化学工業株式会社

対象作物：杉苗

成分・作用特性：本剤は、アルキルポリオキシエチレンアルコールを有効成分とした乳白色の乳剤である。杉苗の移植時（掘り取り前・掘り取り後）に、本剤を杉苗に散布あるいは浸漬することにより、苗木の葉と根が単分子膜で覆われ、植物より水分が蒸散するのを抑制して植え傷みを防止する。本剤は、杉・から松山行苗木に有効のみならず、イヌツゲ・シャリンバイなど、緑化木の苗木に対しても実用上、十分な効果を示す。

毒性：急性経口毒性はマウスに於いてLD₅₀ 7954 mg/kg 以上であり、魚毒性はヒメダカで48時間TL_mは520 ppmである。皮膚刺激・眼瞼粘膜刺激試験も白色ウサギで試験をしたが、異常は認められなかった。

使用上の注意：①蒸散抑制剤は作物から水分の蒸散を抑制することによって移植苗の植え傷

みを防止することが目的であり、特に気象条件・土壌条件が悪い場合あるいは掘りとり後移植まで長時間要する場合など、植え傷みの激しい時に効果的である。掘りとり後の作物は所定濃度の稀釈液に浸漬し、掘りとり前であれば地上全体が均一にぬれるように葉の表裏に散布する。苗木が小さい場合は、掘りとり後、根部ともども浸漬した方が効果は良い。②散布直後の散水や降雨直前の処理は、効果を減じるので避けること。③散布の際は、マスク・手袋などをして散布液を吸い込んだり、多量に浴びたりしないように注意し、作業後は顔・手足などをよく洗い、うがいをすること。④本剤は、一般の農薬散布器で散布可能であるが、使用後は本剤が残らないよう充分に水洗すること。⑤本剤が万一凍結したときは、ビン・缶ごと湯につけて融かし、よくまぜて均一な状態にもどしてから使用すること。

使用方法：杉苗の蒸散抑制による植え傷みを防止するため、移植時（掘りとり前）に、10～20倍液を苗の地上部全体に均一に散布するか、あるいは浸漬する。

原色 図鑑 芝生の病虫害と雑草

細辻豊二・吉田正義著/B6判/カラー95頁(240点)/定価3,000円(〒160円)

芝生に発生する病害、害虫、雑草の病徴、生態から防除法までを豊富なカラー写真とともに解説。研究者、芝生管理者のための実用性の高い本格的指導書。

水田の多年生雑草

草薙得一
A5判/72頁(カラー170点)/定価1,000円(〒160円)

全国農村教育協会

東京都港区愛宕1-2-2 第9森ビル
電話03(436)3388 振替東京1-97736